

2022年4月25日

暮らしと環境、それぞれの未来を育む ZEH・LCCM 住宅を新発売

CENTURY 蔵のある家 ZEH ADVANCE

- 敷地条件に対応しながら大容量の太陽光発電システムを搭載できるフォルムを採用し、LCCM 住宅を実現
- 住宅業界初の技術を搭載した換気システムや全館空調によって、衛生的で快適な空気環境を提案
- 変化したニューノーマルの生活を豊かにする新空間提案により、心身ともに健やかな暮らしをサポート



ミサワホーム株式会社（代表取締役社長執行役員 磯貝匡志）は、木質系工業化住宅の最上位ブランド「CENTURY」に「CENTURY 蔵のある家 ZEH ADVANCE」をラインアップに加え、沖縄県を除く全国で2022年4月29日に発売します。

これまでミサワホームは、1998年の世界初のゼロ・エネルギー住宅[®]発売をはじめ、住宅業界や社会のニーズに先駆けて、地球環境に貢献できる住まいの研究開発を行っています。LCCM住宅については、2010年にコンセプト住宅「エコフラッグシップモデル」を発表し、2011年には業界初の「ライフサイクルCO₂マイナス住宅」を発売。2021年には、環境だけでなく、暮らしや健康についてもサステナブルな住まいとして、2030年を見据えた未来住宅「グリーン・インフラストラクチャー・モデル」を発表しました。

こうした経緯を踏まえ、この度、カーボンニュートラルの実現に貢献する住まいを普及させるため、ZEH、さらにはLCCMに対応する住まい「CENTURY 蔵のある家 ZEH ADVANCE」を発売します。斜線制限などの敷地条件に対応しながら大容量の太陽光発電システムを搭載できる設計「スマートECOフォルム」を採用。32坪程度^{※1}の住まいからLCCM住宅を実現します。また、仕事や勉強、趣味など、さまざまな活動を家で行うようになる暮らしの変化にも対応。フレキシブルに使える空間構成や健康的な空気環境、安全安心な防災・減災デザインを提案しています。

ミサワホームは、家族の健康を育む、安全安心で豊かな暮らしとあわせてZEH・LCCM住宅を提案し、暮らしと環境、それぞれの未来を育む住まいを提供していきます。

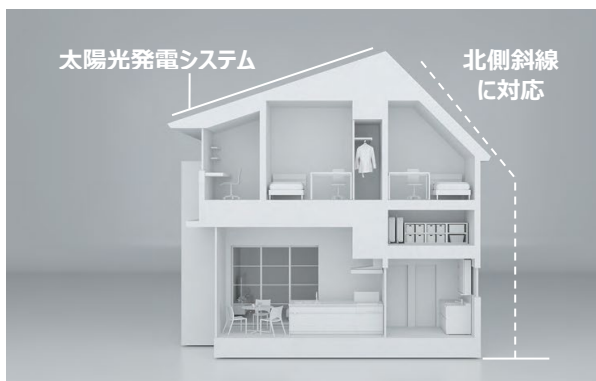
※1：「CENTURY 蔵のある家 ZEH ADVANCE」のモデルプランにおける、省エネルギー基準地域区分6地域の場合

■「CENTURY 蔵のある家 ZEH ADVANCE」の特徴

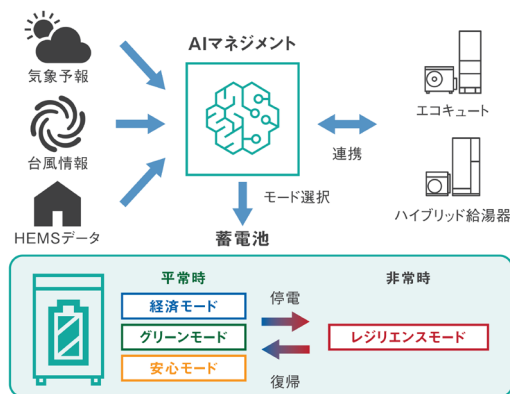
1. 優れた敷地対応力で ZEH・LCCM 住宅を実現し、発電した電力は自家消費できるよう AI がマネジメント

異種勾配の屋根形状や大収納空間「蔵」の配置を工夫するフレキシブルな設計「スマート ECO フォルム」によって、大容量の太陽光発電システムの搭載と斜線制限などへの対応を両立します。

また、発電した電力の自家消費率を高めるため、オーナー向けに提供する IoT ライフサービス「Link Gates^{リンクゲイツ}」が蓄電池^{※2}、および給湯機器^{※2}を自動制御。過去の使用電力量や太陽光発電量などの HEMS データ、気象予測情報などから、AI が翌日の発電量や使用電力量、余剰電力量を予測して最適な利用を可能にします。



北側斜線に対応しながら太陽光発電システムを搭載



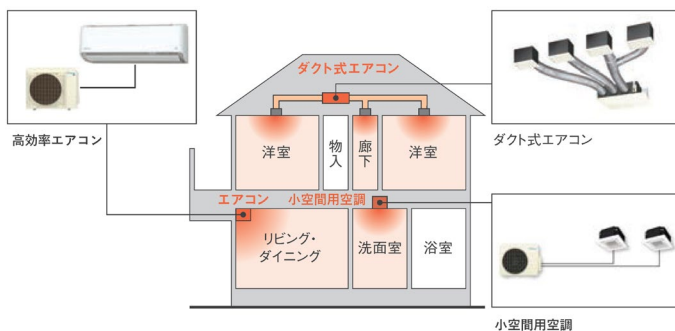
AIにより発電した電力を最適利用するイメージ

※2：蓄電池は単機能蓄電システム、またはハイブリッド蓄電システム、給湯機器はエコキュート、またはハイブリッド給湯器が対象

2. 衛生的で快適な空気環境と、新発想の空間提案により、身体的・精神的に良好な暮らしをサポート

建物ごとに最適な換気量で運転する、住宅業界初^{※3}の「邸別一定風量制御」技術を搭載した「フロアセントラル換気システム A7」により、熱交換を行いつつ、エネルギーロスの少ない最適な換気量で運転。また、PM2.5 や PM0.5、花粉などを捕集する高性能の「HEPA フィルター」により、新鮮で衛生的な給気ができます。

あわせて、快適かつ経済的に空調できる全館空調システム「 commonsエア」を採用。ダクト式エアコンと高効率エアコン、洗面所や廊下、トイレなどの小空間用の空調を組み合わせ使用使用する「commonsエア」は、「Link Gates」によって一括で制御することができます。

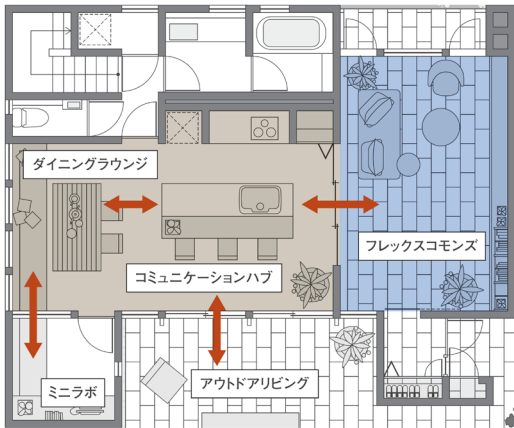


「フロアセントラル換気システム A7」(左)と「commonsエア」(右)イメージ

仕事や勉強、趣味などさまざまな活動を家で行うようになり、部屋の使い方が多用途になったことから、これまで家族が集まる場所として、ひとつながりの大空間にすることが当たり前であった LDK を分割。「フレックス commons」と「コミュニケーションハブ + ダイニングラウンジ」、2つの空間を透過性のある建具で仕切り、多様なライフスタイルに合わせて家族のつながりを調整できる空間を提案します。隣接する個室の在宅ワークスペース「ミララボ」と組み合わせ、家族とのつながりを育みながら、ひとりの時間も大切にできる住まいを提案。心理的にも健康的な暮らしを提供することにより、家族が心身ともに健康的な状態が続く、ウェルビーイングな暮らしをサポートします。

※3：2022年4月時点、当社調べ

<「フレックスcommons+コミュニケーションハブ+ダイニングラウンジ」、隣接する「ミニラボ」>



多様なライフスタイルや、ライフステージの変化に対応
住まいのマルチプレイス化を実現する空間設計

■フレックスcommons

ひとりで、家族で、来客時に、自由に使える多用途な空間
透過性のある建具で仕切ることにつながりを調整できます

■コミュニケーションハブ

キッチンを中心にダイニングラウンジやフレックスcommonsとつながる空間
家族とつながり、交流を育みます

■ダイニングラウンジ

食事だけでなく、リビングとして使ったりちょっとした仕事をしたり、
隣のミニラボともほどよくつながる、居心地の良い空間です

■ミニラボ

扉の開閉で、ひとりで集中したり家族とつながったり、
在宅ワークスペースや、趣味の部屋としても使える空間です



ダイニングラウンジとコミュニケーションハブ



約 3.3m の高天井で開放的なフレックスcommons

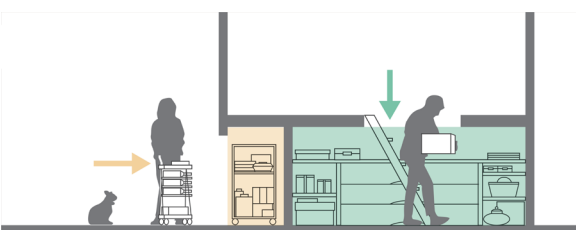
また、ミサワホームでは在宅ワークやリモート授業などの浸透に合わせて、3つのワークスペースを提案。家族一人ひとりの仕事や授業、趣味の時間が快適になるようにサポートします。

1. **仕事に集中して取り組む「フォーカス」** : ミニラボやホームオフィスなど、閉じることのできる空間
2. **家族とつながりながら働く「スイッチ」** : ダイニングラウンジなど、家族とのつながりを持つ空間
3. **頭を整理してひらめきを生む「リチャージ」** : フレックスcommonsやアウトドアリビングなど、リラックスできる空間

3. これからの暮らしを快適で安全安心にする
大収納空間「蔵」× 防災・減災デザイン「MISAWA-LCP」× 感染症対策

さまざまな活動を家で行うようになるなか、増えていく荷物を収納するために、各所の分散収納とあわせて、2タイプの大収納空間「蔵」を提案します。

生活動線上にある、階段の踊り場から使う「蔵」には日用品や備蓄品を収納し、
上階の床面の扉を開けて使う「蔵」には季節ものなどを収納。目的に合わせて使い
分けることにより、日常で利用するものを適所に収納しながら災害にも備えることが
できます。



2タイプの大収納空間「蔵」の使用イメージ



階段の踊り場から使う「蔵」



上階床面の扉を開けて使う「蔵」

また、ミサワホームでは、頻発・激甚化する自然災害に対して、地震や浸水、風災、雪害、火災への対策を体系化した防災・減災デザイン「MISAWA-LCP」を提案しています。暮らしのなかで 自然災害に「備える」、災害から家族を「守る」、災害発生後の暮らしを「支える」。この3つのフェーズに災害対策を分類して提案します。



暮らしのなかで 自然災害に「備える」

非常食を消費しながら常備する
「ローリングストック収納」など



災害から家族を「守る」

大規模な浸水に備える
「防災外構」など



災害発生後の暮らしを「支える」

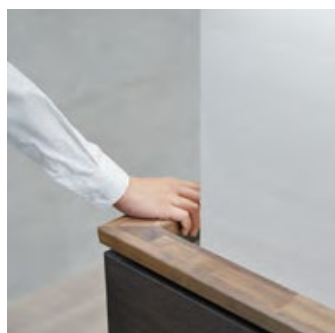
停電時も電気が使える
「全負荷型3電池連携システム」など

あわせて、感染症のリスクに対して高い安全性が求められるなか、ウイルスを「持ち込まない」、「放っておかない」、健康的に過ごせて病気などに「かかりにくい」、3つの対策を提案します。

1. ウイルスを「持ち込まない」 : 抗ウイルスの玄関ハンドルやビルトイン宅配ボックス、タッチレス内部ドアなど
2. ウイルスを「放っておかない」 : 抗菌・抗ウイルスの手すりやフローリング、ドアハンドル、クロスなど
3. 病気などに「かかりにくい」 : フロアセントラル換気システム A7 や高天井・大開口で広く明るい空間など



抗ウイルスの玄関ハンドル



抗菌・抗ウイルスの手すり



高天井・大開口で広く明るい空間

■商品概要

商品名 : CENTURY 蔵のある家 ZEH ADVANCE (ゼッチアドバンス)

構造・工法 : 木質パネル接着工法

運用 : 自由設計 (モデルプラン 10 タイプ)

販売エリア : 全国 (沖縄県を除く)

販売目標 : 700 棟 (2022 年度)

発売日 : 2022 年 4 月 29 日 (金)

商品サイト : https://www.misawa.co.jp/kodate/syouhin/century_kura_zeh_advance/

以上

この件に関する問い合わせ先

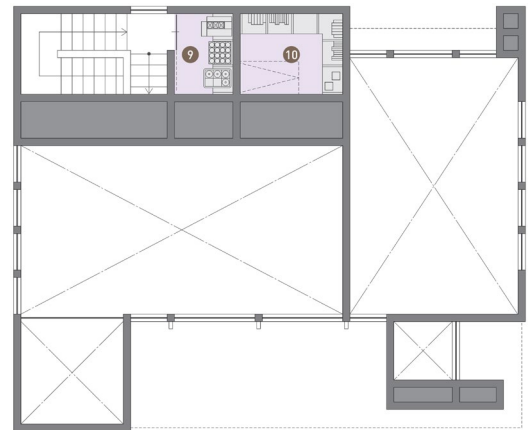
ミサワホーム(株) 管理本部 広報・渉外部 コーポレートコミュニケーション課 阿部正成 麻生和広
TEL : 03-3349-8088 / FAX : 03-5381-7838 / E-mail : koho@home.misawa.co.jp

【参考資料】LCCM コンセプトモデル「42-2RE-1」 42坪 東入りタイプ

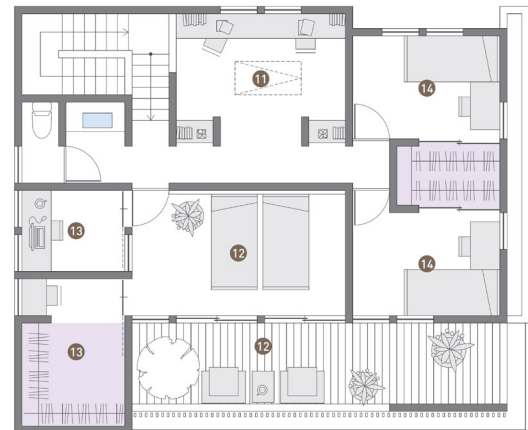


1F

建築面積 84.05㎡
 延床面積 140.57㎡ (42.52坪)
 1階床面積 72.52㎡
 2階床面積 68.05㎡
 ※バルコニー、蔵の面積は含みません



蔵フロア



2F

① グリーンインフラ外構

増水時の敷地内への流入を防ぐ「防災外構」と、内水氾濫時の敷地外への雨水流出を防ぐ「アメニワ」による水害対策外構をご提案。

④ コミュニケーションハブ

キッチンを中心とした設計が1階全体を開放的で豊かなスペースに演出。フレキシブルに暮らしながらご家族のつながりを育みます。

⑦ 高天井・大開口設計

1階全体が約3.3mのおおらかな高天井空間。南面のハイサッシから居室の奥まで陽光を取り込み、明るくすこやかな暮らしを演出。

⑩ シーズナルユースの「蔵」

2階の「ホームコモنز」から利用する垂直収納。季節や行事のモノ、ご家族の思い出の品、備蓄品をしまっておくのに適しています。

⑬ ホームオフィス+フィッティングルーム

主室には、仕事に集中できる「ホームオフィス」やパウダーコーナー付のウォークイン・クロゼット「フィッティングルーム」をご提案。

② エントランス

感染対策の「ビルトイン宅配BOX」「タッチレス内部ドア」「抗ウイルス床タイル」、ゆとりの収納力の「シューズクロック」などご提案。

⑤ ダイニングラウンジ

食事をする場としてはもちろん、リビングやデスクワークの場など多目的に利用できます。ほどよく囲まれた居心地のいいスペース。

⑧ アウトドアリビング

庭の心地良さと室内の安心感を併せ持つ、ゆとりの軒下空間。室内から連続したもう1つのパブリックスペースとして活用できます。

⑪ ホームコモنز

親子でふれあいながら学び合える「スイッチ」タイプのワークスペース。“寝学分離”で集中しやすく、オンライン学習にもぴったり。

⑭ 子ども部屋

ご家族とコミュニケーションしやすいホームコモنزのそばに設けて、2つの子ども部屋を収納でつなぐなど、ふれあいを考えた設計です。

③ フレックスコモنز

透過性のある建具のオープン&クローズで、隣室とのつながりを調節。ライフスタイルに合わせて自由に活用できる可変空間です。

⑥ ミニラボ

仕事や趣味に集中できる「フォーカス」タイプのワークスペース。ドアを開ければ、ご家族とのつながりを感じながら作業できます。

⑨ デイリーユースの「蔵」

階段の踊り場から利用できる大収納空間。生活動線にあるため衣類やティッシュ、洗剤などの日用品などをしまっておくのに便利。

⑫ 主室+リチャージバルコニー

バルコニー全体に屋根をかけ、主室と一体感がある設計。バルコニーは「リチャージ」タイプのワークスペースとして利用できます。